

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成30年11月14日

**【四半期会計期間】** 第87期第3四半期(自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日)

**【会社名】** 株式会社ハマイ

**【英訳名】** HAMAI INDUSTRIES LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 河 西 聡

**【本店の所在の場所】** 東京都品川区西五反田七丁目7番7号 SGスクエア2階

**【電話番号】** 03(3492)6711(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役 管理本部長 吉 村 真 介

**【最寄りの連絡場所】** 東京都品川区西五反田七丁目7番7号 SGスクエア2階

**【電話番号】** 03(3492)6711(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役 管理本部長 吉 村 真 介

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第86期 第3四半期 連結累計期間	第87期 第3四半期 連結累計期間	第86期
会計期間		自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日	自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日	自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日
売上高	(千円)	5,911,419	6,044,786	8,315,350
経常利益	(千円)	414,219	383,099	635,873
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	237,140	228,017	434,358
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	413,103	255,599	776,468
純資産額	(千円)	12,641,901	12,882,581	12,793,798
総資産額	(千円)	16,445,575	16,962,921	17,037,967
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	34.59	34.17	63.62
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	76.9	75.9	75.1

回次		第86期 第3四半期 連結会計期間	第87期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日	自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	1.12	8.48

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当連結会計年度におけるわが国の経済状況は、国内では政府による経済・金融政策を背景に企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中で、景気は緩やかに回復しており、世界経済も全般的に回復基調を維持しておりますが、米国の通商政策に懸念される貿易摩擦や地政学的なリスクなどから依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループの主力商品であるLPG容器用バルブ部門は主力製品の家庭用容器用弁の需要減による販売数量の減少が主な要因で前年同期を下回りましたが、配管用バルブ部門及び高圧ガスバルブ部門は堅調な設備投資や半導体関連が好調に推移したことから販売数量は順調に推移し、売上高は前年同期を上回り60億4千4百万円、前年同期比1億3千3百万円（2.3%）の増収となりました。一方収益面では、製造コストの低減への取り組みには注力致しましたが、主要原料である黄銅材料の高騰に加えて、副資材や運賃の値上がりにより、営業利益は3億6千2百万円、前年同期比2百万円（0.7%）の減益、経常利益は3億8千3百万円、前年同期比3千1百万円（7.5%）の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益におきましても、2億2千8百万円、前年同期比9百万円（3.8%）の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 〔バルブ事業〕

当社の主力商品であるLPG容器用バルブ部門は売上高22億1百万円（前年同期比5.0%減）、配管用バルブ部門は売上高13億3千3百万円（前年同期比6.8%増）、高圧ガスバルブ・ガス関連設備機器部門は売上高14億3千3百万円（前年同期比8.3%増）、その他売上高6億4千3百万円（前年同期比2.5%増）、合計売上高は56億1千2百万円（前年同期比1.7%増）となり、また営業利益は95百万円（前年同期比20.3%減）となりました。

#### 〔不動産賃貸事業〕

賃貸収入は4億3千2百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は2億6千6百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して、1億6千6百万円減少し、84億6百万円となりました。これは主に売上債権の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末と比較して、9千1百万円増加し、85億5千6百万円となりました。これは主に建設仮勘定が増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して、1億9千4百万円減少し、23億3千9百万円となりました。これは主に仕入債務の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末と比較して、3千万円増加し、17億4千1百万円となりました。これは主にリース債務の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、8千8百万円増加し、128億8千2百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1億8千8百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,518,000
計	11,518,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成30年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,424,140	7,424,140	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	7,424,140	7,424,140		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年 月 日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年7月1日 ~ 平成30年9月30日		7,424		395,307		477,917

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成30年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 751,500		
	(相互保有株式) 普通株式 7,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,660,000	66,600	
単元未満株式	普通株式 5,640		
発行済株式総数	7,424,140		
総株主の議決権		66,600	

- (注) 1 「単元未満株式」には当社所有の自己株式13株が含まれております。  
2 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が5,000株(議決権50個)含まれております。

【自己株式等】

平成30年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ハマイ	東京都品川区西五反田 七丁目7番7号 SGスクエア2階	751,500		751,500	10.12
(相互保有株式) 四国ハマイ株式会社	香川県高松市国分寺町 福家甲2466番地11	7,000		7,000	0.09
計		758,500		758,500	10.21

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の変動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成30年7月1日から平成30年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成30年1月1日から平成30年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人まほろばによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,833,617	3,714,673
受取手形	<sup>2</sup> 1,112,234	<sup>2</sup> 1,057,714
売掛金	1,818,507	1,646,609
有価証券	4,999	6,413
商品	1,011	990
製品	504,235	582,633
原材料	164,271	222,686
仕掛品	831,682	1,015,789
貯蔵品	39,607	43,609
前渡金	49,146	49,269
繰延税金資産	27,082	55,614
未収消費税等	160,751	
その他	25,789	10,774
貸倒引当金	63	58
流動資産合計	8,572,874	8,406,720
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	3,477,568	3,472,291
構築物（純額）	103,996	97,011
機械及び装置（純額）	835,638	784,871
車両運搬具（純額）	5,679	2,439
工具、器具及び備品（純額）	60,450	72,061
土地	328,422	328,625
リース資産（純額）	62,773	65,586
建設仮勘定	138,208	198,115
有形固定資産合計	5,012,738	5,021,003
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	1,023	10,294
電話加入権	2,412	2,412
リース資産	15,915	10,542
借地権	360	360
無形固定資産合計	19,711	23,609

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	2,851,126	2,906,869
関係会社株式	1 7,050	1 7,050
出資金	310	310
長期前払費用	1,254	6,996
会員権	17,739	17,739
保険積立金	451,946	455,616
その他	103,456	117,246
貸倒引当金	240	240
投資その他の資産合計	3,432,643	3,511,588
固定資産合計	8,465,093	8,556,201
資産合計	17,037,967	16,962,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	2 1,435,709	2 1,307,370
買掛金	472,594	352,476
未払金	151,231	131,002
未払法人税等	91,615	68,555
未払消費税等		117,730
未払費用	50,341	49,317
前受金	48,660	50,529
預り金	33,717	10,755
リース債務	30,569	25,836
賞与引当金	40,900	124,800
設備関係支払手形	2 178,645	2 100,850
流動負債合計	2,533,984	2,339,226
固定負債		
役員退職慰労引当金	259,307	272,207
退職給付に係る負債	633,910	617,722
長期預り保証金	712,252	711,869
リース債務	50,688	72,326
繰延税金負債	54,026	66,987
固定負債合計	1,710,184	1,741,112
負債合計	4,244,168	4,080,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,307	395,307
資本剰余金	648,247	648,247
利益剰余金	11,633,533	11,694,735
自己株式	722,497	722,498
株主資本合計	11,954,590	12,015,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	803,013	833,350
為替換算調整勘定	36,194	33,439
その他の包括利益累計額合計	839,207	866,789
純資産合計	12,793,798	12,882,581
負債純資産合計	17,037,967	16,962,921

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高		
製品売上高	4,804,030	4,898,531
商品売上高	124,811	90,410
加工屑売上高	587,556	623,208
商品及び製品売上高合計	5,516,399	5,612,150
不動産賃貸収入	395,019	432,635
売上高合計	5,911,419	6,044,786
売上原価	1 4,690,201	1 4,880,869
売上総利益	1,221,217	1,163,916
販売費及び一般管理費		
運賃	61,914	64,399
役員報酬	98,276	100,584
給料	170,279	192,825
賞与	25,888	27,634
賞与引当金繰入額	29,421	29,577
退職給付費用	11,111	2,400
役員退職慰労引当金繰入額	12,900	12,900
減価償却費	16,129	17,680
その他	430,402	353,661
販売費及び一般管理費合計	856,323	801,663
営業利益	364,893	362,253
営業外収益		
受取利息	3,822	3,897
受取配当金	33,788	30,803
為替差益	7,362	
雑収入	14,257	11,959
営業外収益合計	59,231	46,660
営業外費用		
売上割引	2,573	2,330
為替差損		23,461
投資有価証券評価損	313	
雑損失	7,018	22
営業外費用合計	9,905	25,814
経常利益	414,219	383,099

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	2,535	2,517
投資有価証券売却損	7,710	
90周年記念費用	18,472	
特別損失合計	26,717	517
税金等調整前四半期純利益	387,501	382,581
法人税、住民税及び事業税	172,981	183,524
法人税等調整額	22,620	28,959
法人税等合計	150,361	154,564
四半期純利益	237,140	228,017
非支配株主に帰属する四半期純利益		
親会社株主に帰属する四半期純利益	237,140	228,017

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	237,140	228,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	174,287	30,336
為替換算調整勘定	1,675	2,754
その他の包括利益合計	175,963	27,581
四半期包括利益	413,103	255,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	413,103	255,599
非支配株主に係る四半期包括利益		

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 関連会社に係る注記

各科目に含まれている関連会社に対する主なものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
関係会社株式	7,050千円	7,050千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
受取手形	109,520千円	130,448千円
支払手形	279,565 "	349,848 "
設備関係支払手形	28,344 "	423 "

(四半期連結損益計算書関係)

1 当期製品製造原価に含まれる賞与引当金繰入額および退職給付費用は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
賞与引当金繰入額	90,178千円	95,222千円
退職給付費用	39,250 "	4,391 "

2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
建物	0千円	千円
機械及び装置	14 "	328 "
車両運搬具	"	128 "
工具、器具及び備品	520 "	0 "
リース資産	"	60 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
減価償却費	268,196千円	320,061千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月30日 定時株主総会	普通株式	116,533	17	平成28年12月31日	平成29年3月31日	利益剰余金
平成29年8月10日 取締役会	普通株式	68,549	10	平成29年6月30日	平成29年9月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年3月29日 定時株主総会	普通株式	100,089	15	平成29年12月31日	平成30年3月30日	利益剰余金
平成30年8月10日 取締役会	普通株式	66,726	10	平成30年6月30日	平成30年9月3日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	パルプ事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,516,399	395,019	5,911,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	5,516,399	395,019	5,911,419
セグメント利益	120,081	244,812	364,893

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	パルプ事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,612,150	432,635	6,044,786
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	5,612,150	432,635	6,044,786
セグメント利益	95,717	266,536	362,253

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	34円59銭	34円17銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	237,140	228,017
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	237,140	228,017
普通株式の期中平均株式数(株)	6,854,927	6,672,626

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第87期(平成30年1月1日から平成30年12月31日まで)中間配当については、平成30年8月10日開催の取締役会において、平成30年6月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおりの中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 66,726千円  
1株当たりの金額 10円00銭  
支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成30年9月3日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年11月12日

株式会社ハマイ  
取締役会 御中

監査法人まほろば

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 土 屋 洋 泰 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 関 根 一 彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハマイの平成30年1月1日から平成30年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成30年7月1日から平成30年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成30年1月1日から平成30年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハマイ及び連結子会社の平成30年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。